

追い移植

THMS

マネージメント情報

TO

「追い移植」とは発情時に AI(授精)をして、その一週間後に受精卵移植を行うことを指します。

追い移植で多く使用されるのが「体外受精卵」であり、そのほとんどが「F1 卵」です。基本的には授精時に使用した種牛と同じ体外受精卵を使用します。

この追い移植はリピートブリーダーに効果的と言われており、今回我々もいくつかの知見を得たので報告します。

対象牛

- ・授精回数が 5~6 回以上している
- ・分娩から 170 日以上経過している

結果

57 頭中 30 頭が受胎して受胎率は 52%

今回の結果から、リピートブリーダーに「追い移植」を行う事は非常に効果の高い事が解りました。しかし分娩から日にちが経ち過ぎて BCS (ボディコンディションスコア) が高くなった牛は受胎しにくかったように思います。

分娩 300 日以上で BCS が高い牛 (4.0 以上)

8 頭中 2 頭が受胎して受胎率は 25%

「追い移植」はリピートブリーダーに有効な技術ですが、授精回数が少ない牛でも BCS が高い牛 (泌乳初期や中期で 3.75 以上) に積極的に追い移植をした方が良いと思います。

今回の結果で平均受胎率より少し高めの受胎率だったのは、BCS が高くなる前に移植が行えた事が良かったように思います。

価格 授精時の種代 (約 3 千~) + 当社移植料 (7 千) + 卵 (約 5 千~ 6 千)